

教職員の皆様へ

教育の目的は子どもたちの無限の可能性を引き出すことにあり、その役割を担うのが教師であります。皆様が、日々、自己研さんに励み、自らの人間力を高め、仕事に誇りと自信を持って、子どもたち一人一人に深い愛情を注いでくださっていることに対し、心から感謝申し上げます。

しかしながら、児童買春や強制わいせつ未遂等により教員が逮捕されるといった、重大かつ悪質な事件が連続して発生し、学校教育に対する保護者や地域社会の信頼を大きく揺るがす、極めて憂慮すべき事態となっております。こうした一部の教職員による不祥事に対し、強い憤りを感じているのは、私だけではないと思います。

言うまでもなく、教育は、教職員が尊敬され、学校が信頼されてこそ成り立つものであります。たとえ教職員2万5千人の中の一人の不祥事であっても、その一つが学校教育全体の信頼を根底から覆すことになり、決して許されるものではないのです。不祥事は、何としても根絶しなければなりません。

不祥事を個人の資質の問題として片付けず、教職員一人一人が組織全体の課題として受け止め、対応することが重要です。各学校では、コンプライアンス推進委員会を中心に、不祥事を根絶するための取組が行われていると思います。これからも、自分の学校では、決してこうした不祥事を起こさないという強い思いを共有し、これまで以上に一人一人の心に染み入るような取組となるよう、更なる改善を図ってください。同時に、教職員一人一人も、絶えず、自らの行動を見つめ続けてほしいと思います。

今後も、一人一人の力を組織の力に変え、組織の力を強化し、組織全体の力で不祥事の根絶を図り、教育に対する信頼の回復に向け取り組んでいただきたい。そして、教師としての誇りを持ち続け、子ども一人一人の夢の実現のために、大いに努力していきましょう。

平成29年9月22日

茨城県教育委員会教育長 小野寺 俊